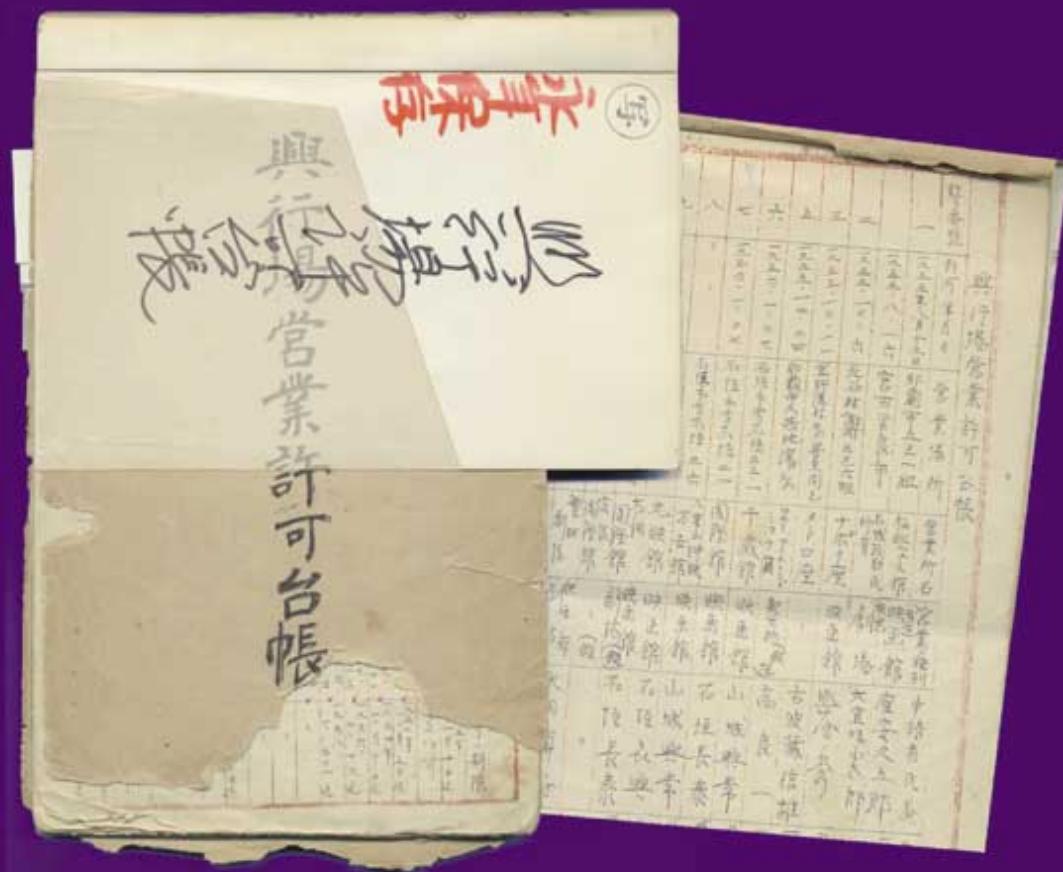


アーカイブズ

ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第20号

平成14年11月21日発行



興行場営業許可台帳 資料コード0000016399

この文書には1955年から1964年の間に営業許可を受けた興行場（映画館・劇場など）のリストが綴られています。北谷村のナボリ座、宜野湾村のメトロ座、与那原町のモナリ座、那覇市のあけぼの劇場…。懐かしく思い出す方も多いのではないでしょか。1950年代の沖縄は映画ブーム、1959年のピーク時には映画館の数も120を越えたといわれ、文書からはそんな時代の息吹が伝わってきます。

この文書は、沖縄県薬務衛生課が興行場法に基づく事務のために琉球政府から引き継ぎ、保管していた文書で、平成11年度に保存期間が満了し、公文書館へ引き渡されました。

▶企画展『1940年代の沖縄の空中写真』開催中

平成14年度企画展『1940年代の沖縄の空中写真』を9月18日から開催しています。

展示している空中写真是、米国国立公文書館から収集した米軍撮影のもので、圏域毎に期間を設けて展示しています。



1945年4月2日 那覇市

南部圏域の展示(10月27日まで)では、約2,400人が観覧しました。引き続き、本島中部、北部及び宮古・八重山圏域と開催します。詳しい日程は、末頁の「お知らせ」をご覧ください。

▶主な収集資料

●『那覇地方裁判所文書』

那覇地方裁判所から500点余の資料の寄贈がありました。これらの資料は、同裁判所が歴史的資料として保存していた裁判記録と、本土復帰10周年を記念して展示会を行った際に収集した資料から構成されています。141点の裁判記録には、戦前の裁判書(さいばんがき)31点と、昭和27年4月28日の対日平和条約発効以前に確定した刑事裁判書原本110点があり、夜間外出禁止令違反事件や経済内令違反事件など、終戦直後の沖縄の特殊事情が反映されている資料が多くみられます。

●『琉球列島軍政本部旅行証明書』

表紙にNo.001とあることから、琉球列島米国軍政府が1948年7月28日に発行した最初の旅行証明書(パスポート)だと思われます。これは、当時沖縄民政府外事課長を務めていた故比嘉善雄氏のもので、ご子息の比嘉國郎氏から寄贈いただきました。

▶ 映写会の開催

10月2日、5日、9日、16日、23日及び30日に公文書館講堂にて映写会を開催しました。上映したのは、沖縄の歴史を小中学生用に紹介した『ニライ・カナの城大冒険』(公文書館製作)や、米国国立公文書館から収集した『米軍撮影沖縄戦関連映像』等です。

▶ 資料保存講習会の開催

資料保存講習会『紙資料のクリーニングと簡易補修』を8月16日・10月4日に開催しました。



▶ 公文書等デジタル化事業

これまでアルバムで整理していた写真資料を、利用者がコンピュータ上で簡単に検索・閲覧できるようにデジタル化しています。前年度に引き続き、沖縄県緊急地域雇用創出特別事業で、今年度は次の写真資料をデジタル化します。

○米軍が沖縄戦に際して撮影した空中写真約1,800枚

○戦後の米軍や琉球列島米国民政府(USCAR)が撮影した写真約11,600枚

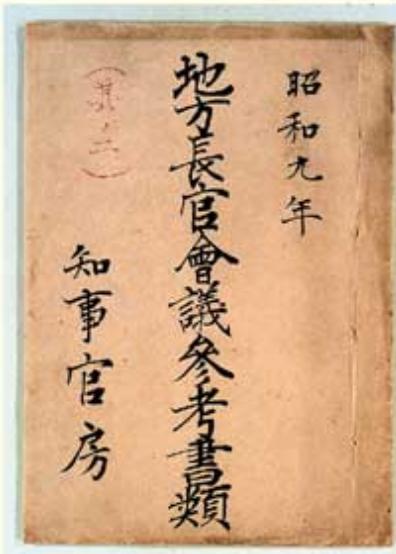
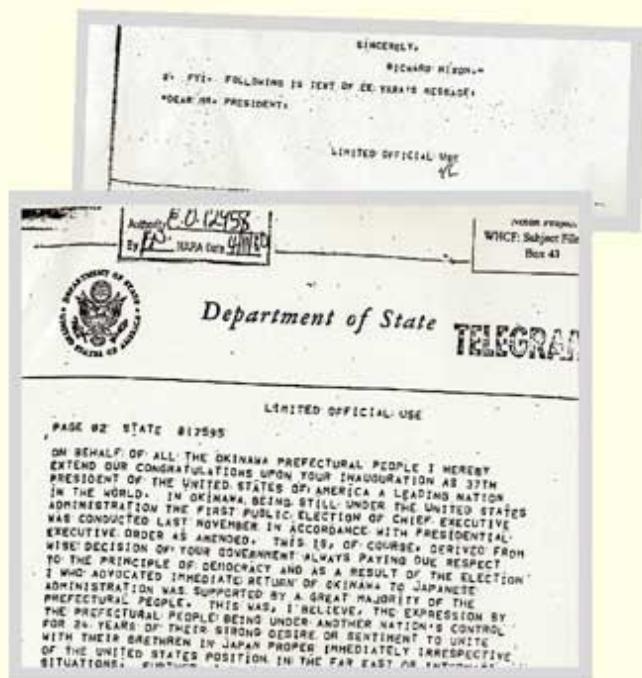
高解像度でデジタル化した空中写真是閲覧室の「空中写真閲覧システム」(6頁参照)にて、他の写真是当館ホームページでご利用になれます。

新しく閲覧できる主な資料を紹介します。

● 井野次郎文書

井野次郎文書(全22点)が閲覧できます。

第22代沖縄県知事井野次郎(いのじろう 1877-1952)は、北海道庁土木部長を経て、昭和5年8月26日から昭和10年6月28日までの4年10ヶ月間沖縄県知事を務めました。「ソテツ地獄」と呼ばれる疲弊した県経済を建て直すため、昭和6年に県と国による初の振興計画である「沖縄県振興15年計画」を立案し、その実施に努めました。資料群中、4点の公文書は、昭和9年に開催された地方長官会議に出席した際に使用したもの、また18点の写真資料は、与那国島巡視関係4点のほか、ほとんどが在任中に撮影したものと推測されます。



● 八重山支庁文書(戦前文書)

平成7年度に企画開発部八重山支庁から引渡された沖縄県文書のうち、戦前文書24簿冊が閲覧できます。内訳は、大正8年から昭和16年(昭和13年欠)の八重山島庁/八重山支庁の出勤簿が22件、庶務例規2件(ただし、1件は簿冊表紙に例規綴との記載があるが、内容は県と八重山支庁管内町村との往復文書)となっています。「庶務例規 永年」(写真右)は、明治31年から大正10年の通達文書綴りです。

● 平成11年度沖縄県知事部局引渡文書(第1種文書)

平成11年度に保存期間が満了し、公文書館へ引き渡された沖縄県文書のうち、第1種文書(20年保存文書)が閲覧できます。これらの文書全216件は、昭和53年度に完結した文書です。表紙の「興行場営業許可台帳」もこの中の1件で、福祉保健部薬務衛生課から引き渡されました。そのほか、開発許可不許可関係、簡易水道事業関係の文書などがあります。

● ニクソン大統領時代の沖縄関係文書 (ホワイトハウスセントラルファイル文書)

前号で紹介した「ニクソン関係NSC(国家安全保障委員会)文書」21件に引き続き、「ホワイトハウスセントラルファイル文書」31件が閲覧できます。この文書の中には、ニクソン大統領に琉球政府の屋良朝苗行政主席が送った沖縄返還要求メッセージ(写真左 英文)等が含まれています。



資料の中には、個人情報を含むなどの理由で閲覧を制限されるものがあります。また劣化の著しい資料は、修復や複製物の作成などの措置が済むまでは利用をお待ちいただくこともあります。この他、光に弱い紙が使用されている場合は、コピー機による複写ができないこともありますので、ご協力お願いします。



沖縄県文書のインターネット検索
所蔵資料目録と引渡文書目録は、
当館ホームページ“ねっとOPA”から
検索できます。
<http://www.archives.pref.okinawa.jp>



5 第二次選別を経て、最終的に永久保存として選別された文書は、簿冊ごとに中性紙のフォルダーに移し替え、保存箱に収納し、選別保存文書庫に配架します。また、簿冊ごとの目録をデータベース(所蔵資料目録)に登録して検索がしやすいうようにします。

第二次選別 目録作成

公文書館引渡文書目録									
検索結果・引渡目録リスト									
件名	主管課	主担当者	所蔵部局	年度(年)	保管期限	保管場所	登録年月日	登録者	登録機関
H00000212 沖縄県公文書 目録	三課	1877-1877	20	000-000	長期	保管庫	1877-1877	主担当者	主担当者
H01000070 沖縄県公文書 目録	三課	1878-1878	20	000-000	長期	保管庫	1878-1878	主担当者	主担当者
H01000021 沖縄県公文書 目録	三課	1879-1879	20	000-000	長期	保管庫	1879-1879	主担当者	主担当者
H01000051 沖縄県公文書 目録	三課	1880-1880	20	000-000	長期	保管庫	1880-1880	主担当者	主担当者
H01000021 沖縄県公文書 目録	三課	1870-1870	20	000-000	長期	保管庫	1870-1870	主担当者	主担当者
H01000051 沖縄県公文書 目録	三課	1870-1870	20	000-000	長期	保管庫	1870-1870	主担当者	主担当者

4 受け入れた文書を、引渡文書目録データベースに登録し、中間書庫に配架して第二次選別にかけます。この段階の文書は、類名、文書保存箱番号、部課名等を用い、文書保存箱単位で検索することができます。

6 この目録を使って、文書を特定し、閲覧申請することができます。

閲覧



公文書の 作成・取得

沖縄県文書とは？

公文書館が所蔵する沖縄県が作成又は取得した公文書等のことです。沖縄県の文書編集保存規程等により、県の機関で保存期間を経過した文書は、公文書館へ引き渡すこととなっています。

1 知事部局では、所管課で作成・取得した文書は、その業務が完結した翌年度まで課内で保管し、その後に引継文書目録とともに総務私学課へ引き継ぎます(1年保存文書を除く)。引継文書は文書保管管理室で集中管理されます。

引継文書目録	
60年3月27日	
文書部課長 殿 文書主管課長 殿	
課題(室)長	文書引継日録
課名環境衛生課	大委任令第60-1号
保管期間 永年	引継60年3月27日
内容件数 1	題目名興行場許可申請
文書年度 53	分類記号ノ-ハ-ク 分冊番号
文書引継日録	
番号	件名
1	興行場許可申請



なぜ沖縄県文書を収集するのですか？

沖縄県が作成・取得した文書の中には、県民共有の知的遺産になるものが含まれています。公文書館は、行政的役割を果たした公文書等の中から、将来にわたって歴史的に重要なものを収集し、整理し、保存するとともに利用に供する役割があるからです。

<特集> 沖縄県文書の収集と整理

沖縄県では、平成7年8月に沖縄県公文書館が開館し、県の保管する公文書等を収集・整理して閲覧利用に供するため活動しています。

今回はこうした沖縄県文書の収集・整理についてご紹介しましょう。



後世に残す沖縄県文書はどうやって選ぶのですか？

日々膨大に作成される文書のすべてを保存することはできません。公文書館が引き渡しを受けた文書は、二段階の選別を経ることになっています。第一次選別により、庶務及び予算経理等の日常業務を遂行する過程で作成される軽易な文書などが除外され、第二次選別により歴史資料として保存する文書を決定します。

トラック配送

受入



3 公文書館は、この文書廃棄台帳をもとに、第一次選別を行なった後、文書を受け入れます。

第一次選別

(知事部局だけでも一列に並べると約220mの長さになる量の文書を毎年受け入れています。)



公文書館へ引渡

廃棄決定

文書廃棄台帳				
文書廃棄台帳				
年度	分類	文書保存番号	類名	主管課長承認印
53~53	1-22-7	02-005	理容師・美容師試験	
57~63	2-10-7	02-021	廃棄物処理法違反関係 その他10年保存の必要な文書	
63~63	2-14-4	04-004	水道統計	
63~63	2-14-4	04-007	水道統計	
53~53	1-21-7	60-005	水道經營認可申請書	
53~53	1-11-8	60-006	旅館許可台帳	
53~53	1-11-7	60-007	興行場許可台帳	

公文書館を上手に利用していただくために！

搭載されている空中写真は、米軍が飛行中の航空機から撮影したものです。飛行コースによっては、1軒1軒の建物まで確認することができます。

今、あなたが住んでいる家やその周辺は、昔はどうなっていたのでしょうか。

この空中写真閲覧システムを利用して1940年代の沖縄を見てみましょう。



この空中写真閲覧システムは、コンピュータ画面から見たい地域をタッチパネル方式で選択して、搭載した空中写真をご覧いただけます。地域の選択は、地図と住所から探す方法があります。ここでは、地図から探す方法をご紹介します。

地図をタッチすると、撮影コースが表示されます

前に戻る 最初の画面へ



全体図の中から、表示したい地域に指でふれます。

2

地図をタッチすると、タッチした場所を中心拡大します

前に戻る 最初の画面へ



3 指でふれた地域が含まれる撮影コース及び撮影日が表示されます。また、右端の”コース切り替え”ボタンで他の撮影コースを表示することも可能です。表示された撮影コースから、さらに拡大したい地域に指でふれます。ここでは、嘉手納周辺をタッチしてみます。



嘉手納周辺の空中写真が表示されました。比謝川や嘉手納ロータリーが見えます。右端の”矢印”ボタンに触れると、表示焦点を上下左右に移動できます。また、”縮尺切り替え”ボタンにて拡大、縮小することもできます。ここでは、赤線枠の部分を拡大してみます。

4



嘉手納飛行場の誘導路に駐機中の米軍機が見えます。このように任意の位置を瞬時に拡大表示することができます。

また、右端下の”印刷”ボタンにて、表示されている部分のコピーができます。(A4サイズ1枚70円)

5

『沖縄戦後史』

公文書専門員 仲本和彦

中学と高校で英語を教えていた私が本格的に歴史学の勉強を始めたのは、アメリカに留学してからでした。それまでの歴史学に対する認識といえば、教科書や歴史書に書いてある史実を理解すること、ぐるいにしか考えていませんでした。ですから、最初の講義で、日本でもよく知られた外交史研究者の本が教科書として使われた時も、とにかく何が書いてあるかだけに注意を払つて読み進めるようにしました。しかし、次の講義でいきなり聞かれたのは、その本の長所と短所でした。

「えつ、短所？教科書にそんなものあるの？」それがその時の私の率直な反応でした。

素人の私への「洗礼」はその後も続きました。戦後沖縄をテーマにした小論文を教授に見せたところ、何を根拠に論点を開拓しているのか尋ねられました。

「沖縄で戦後史の手引書と見なされている本に出ています。」「では、その本は何を根拠にしているのか。」「…。その本にはそこまで書いてありません…。」

これまで、歴史とは既に出来上がつたもので、著名な歴史家が書いていることは絶対だと思い込んでいましたから、アメリカでこのような問い合わせが度々遭遇することで、私の歴

なるほど、少し気を付けて読んでいくと、一般に手引書として通つている本でも、十分なステップを踏まずく結論を導いていたり、一次資料を使つていながらも典拠があいまいなために、読者にそれを確かめる手段を与えていなかつたりと、少なからず欠点があることに気付いてきます。また、どの歴史書も、どの視点に立つか、どのような資料を使うかだけではなく、対象読者層や紙幅の制限などの出版の事情で、いくつもの選択肢の中からやむを得ず選んだ、一つの書き方を採用しているに過ぎない、ということも分かつてきました。

このように、教科書や歴史書が決して絶対的なものではない、ということになつてくると、研究の可能性は無限に広がることになります。

沖縄県公文書館がアメリカで収集に取り組んでいる米国政府公文書の多くは、これまでほとんど知られていないなかつた沖縄統治政策や実施に關わる内部文書です。U.S.C.A.R.文書を始め、大統領文書、国務省文書、陸軍省文書など、ようやく最近になって公開された新資料ばかりです。これらは資料を使って、沖縄の戦後史を書き換える――。数年前の私は考えすら及ばなかつたことが、今、現実のものになりつつあります。

Q & A 閲覧室

閲覧室には、来館者以外にも電話やFAXなどで沖縄に関する資料の質問が寄せられます。レファレンス記録簿からいくつかご紹介します。

Q 展示会を企画しているのですが、公文書館企画展で展示されている空中写真を借用することはできますか。

A 市町村や公民館等で地域の写真展等を開催する際には、貸出もできますのでご利用ください。(ただし展示が終了したものに限ります。)

Q 身分証明書を持参していないのですが、資料の閲覧はできますか。

A 当館所蔵資料のほとんどは、貴重な原資料(複製でなく最初に作成された資料)ですので、資料保全のため、身分証明書等で住所及び氏名を確認の上、利用証を交付しています。利用証がない場合は、参考資料室の沖縄関係図書、新聞、米軍撮影写真等やビデオ、空中写真閲覧システムの利用に制限されます。
(身分証明書等…運転免許書、パスポート、保健手帳、社員証、学生証など)

Q 琉球政府の企画局、経済局、計画局は現在の沖縄県のどの部署に相当するのでしょうか。

A 『沖縄行政機構変遷史』(照屋榮一著)や『琉球政府行政機構変遷図』(沖縄県公文書館)に記載されています。企画局は企画開発部、経済局は農林水産部、計画局は企画局の前身です。

Q 『沖縄県史資料編第4巻沖縄戦4アイスバーグ作戦』の原文はどこが所蔵していますか。

A 米国アラバマ州の米国空軍歴史研究センターが「10th Army Operation Iceberg」として所蔵しています。当館では、この資料を含む同センターの沖縄関係資料をマイクロフィルムや複製本で所蔵しています。

企画展『1940年代の沖縄の空中写真』(入場無料)

会場:当館展示室

期間:「本島南部及び周辺離島」<終了>

2002年9月18日(水)~10月27日(日)

「本島中部及び周辺離島」

2002年11月7日(木)~12月15日(日)

「本島北部及び周辺離島」

2003年1月5日(日)~2月9日(日)

「宮古・八重山」

2003年2月20日(木)~3月30日(日)

● 公文書講演会及び普及展 (入場無料)

演題:「証としての記録 - 知の遺産を生かすために - 」

講師:大濱 徹也 独立行政法人国立公文書館理事

日時:2002年12月6日(金) 午後2時~4時

場所:沖縄県庁講堂(4階)

*12月2日~6日まで、県庁1階県民ホールにて、公文書の収集から利用に至る公文書館の役割等をパネルでご紹介します。

● 資料保存講演会 (入場無料)

演題:「写真の保存について」

講師:荒井 宏子 東京都写真美術館保存科学研究員

日時:2003年1月24日(金) 午後2時~5時

場所:当館講堂

● 歴史講座 (入場無料)

テーマ:『沖縄関係英文資料を読む』

場所:当館講堂 時間:午後6時30分~8時

(1) 2003年1月15日(水)

「沖縄関係公文書・私文書を中心にアメカ人研究者として-ロバート・エルドリッヂ」 大阪大学大学院助教授

(2) 1月22日(水)

「沖縄戦後史と米国政府公文書」

仲本 和彦 (財)沖縄県文化振興会公文書専門員

(3) 1月29日(水)

「沖縄関連の公文書資料の探し方・読み方」

我部 政明 琉球大学教授

(4) 2月5日(水)

「公文書館で収集した資料の全体像と個々の文書」

我部 政明 琉球大学教授

(5) 2月12日(水)

「1945-50年の沖縄における軍政 I」

宮里 政玄 沖縄対外問題研究会代表

(6) 2月19日(水)

「1945-50年の沖縄における軍政 II」

宮里 政玄 沖縄対外問題研究会代表

● 出版物の案内

沖縄県公文書館年報第4号(平成13年度)を発行しました。

● 入館無料

● 開館時間 09:00~17:00 (閲覧申請は16:30まで)

● 休館日

2002年 11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

2002年 12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2003年 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

(赤色) 休館日

● 閲覧室の利用方法

● 交通の案内

○ 閲覧室への所持品等の持ち込みは、制限がありますのでロッカーをご利用ください。

○ 初めて利用される方は「利用証」の交付をうけてください。その際は身分証明書等の提示をお願いします。

○ 利用証をお持ちの方は、閲覧申請をして、資料の閲覧ができます。

○ 参考資料室の資料は自由に閲覧できます。

○ 資料の館外貸出は行っていません。

○ 資料の複写ができます。(複写は実費をいただきます。)

○ 担当職員が資料に関する問い合わせ・相談に応じます。

バスをご利用のかたは新川バス停下車 徒歩1分
・那覇交通(株)市内線1番・東陽バス(株)91番・96番



アーカイブズ
沖縄県公文書館だより ARCHIVES 第20号
発行日 平成14年11月21日
発行 沖縄県公文書館
編集 財団法人沖縄県文化振興会 公文書管理部
〒901-1105 沖縄県南風原町字新川148-3
TEL 098(888)3875 FAX 098(888)3879
URL <http://www.archives.pref.okinawa.jp>